

政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会

委員一覧 (35名)

委員長	足立 信也 (民主)	佐藤 公治 (民主)	佐藤 ゆかり (自民)
理事	風間 直樹 (民主)	鈴木 寛 (民主)	山東 昭子 (自民)
理事	松浦 大悟 (民主)	玉置 一弥 (民主)	藤井 孝男 (自民)
理事	蓮 舫 (民主)	中村 哲治 (民主)	藤川 政人 (自民)
理事	西田 昌司 (自民)	藤本 祐司 (民主)	宮沢 洋一 (自民)
理事	丸山 和也 (自民)	松井 孝治 (民主)	吉田 博美 (自民)
理事	山崎 力 (自民)	松野 信夫 (民主)	長沢 広明 (公明)
理事	荒木 清寛 (公明)	安井 美沙子 (民主)	西田 実仁 (公明)
	石井 一 (民主)	石井 準一 (自民)	小野 次郎 (みん)
	植松 恵美子 (民主)	磯崎 仁彦 (自民)	中西 健治 (みん)
	梅村 聡 (民主)	岩井 茂樹 (自民)	井上 哲士 (共産)
	江田 五月 (民主)	岡田 広 (自民)	(24. 1. 24 現在)

(1) 審議概観

第180回国会において、本特別委員会に付託された法律案は、本院議員提出3件であり、そのうち、**公職選挙法の一部を改正する法律案**を可決したが、同法律案は衆議院において、2件は本院において、いずれも継続審査となった。

また、本特別委員会付託の請願2種類14件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

公職選挙法の一部を改正する法律案は、参議院選挙区選出議員の議員1人当たりの人口に選挙区間で不均衡が生じている状況に鑑み、各選挙区において選挙すべき議員の数につき是正（4増4減）を行

うとともに、平成28年に行われる参議院議員の通常選挙に向けて、選挙制度の抜本的な見直しについて引き続き検討を行い、結論を得るものとするものであり、民主党所属議員及び自民党所属議員より提出された。

委員会においては、本法律案提出に至る経緯、各会派の提案内容と4増4減案の関係、都道府県単位の選挙区の意義、許容される最大較差、定数削減を今回行わない理由と今後の方針、選挙制度の抜本改革の在り方等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって原案どおり可決した。

(2) 委員会経過

○平成24年1月24日(火) (第1回)

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成24年9月5日(水) (第2回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○**公職選挙法の一部を改正する法律案**（参第36号）について発議者参議院議員一川保夫君か

ら趣旨説明を聴き、同一川保夫君、同溝手顕正君、同藤原正司君及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

松浦大悟君（民主）、山崎力君（自民）、荒木清寛君（公明）、森ゆうこ君（生活）、中

西健治君（みん）、井上哲士君（共産）、平山誠君（大地）、舟山康江君（み風、委員外議員）

（参第36号）

賛成会派 民主、自民、公明

反対会派 生活、みん、共産、大地

○平成24年9月7日（金）（第3回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 請願第345号外13件を審査した。
- 内閣総理大臣の指名に係る国民投票制度の創設に関する法律案（参第17号）
公職の選挙におけるインターネットの活用の促進を図るための公職選挙法の一部を改正する等の法律案（参第24号）
以上両案の継続審査要求書を提出することを決定した。
- 政治倫理の確立及び選挙制度に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。